

# シンポジウム

## 「SDGs 時代を迎えた北海道の国際貢献」

～ 気候変動とインドネシア泥炭火災対策へのチャレンジ ～



主催：(独)国際協力機構（JICA）北海道国際センター

共催：北海道大学 後援：北海道、札幌市、北海道新聞社

協力：(一財)北海道開発協会、(一社)北海道中小企業家同友会札幌支部、  
RCE 北海道道央圏協議会、新輸出大国コンソーシアム北海道ブロック連絡協議会

日時： **2月15日(木)** 15:00～17:00 (受付 14:30～)

場所： **北海道大学 百年記念会館** 大会議室



北海道みらい事業



# シンポジウム「SDGs 時代を迎えた北海道の国際貢献」

～ 気候変動とインドネシア泥炭火災対策へのチャレンジ ～

2015年9月、国連サミットで「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、国際社会は「持続可能な開発目標（SDGs）」達成のための取り組みが求められています。

世界的に気候変動による異常気象の多発が大きな自然災害リスクとなっており、インドネシアの泥炭火災による大量の温室効果ガスの排出は、地球環境にとって大きな脅威となっています。

シンポジウムでは、SDGsに取り上げられている気候変動等のリスクを取り上げ、インドネシア泥炭火災対策のためにODA事業で道内関係者がどのような協力を行っているかを紹介し、SDGs時代を迎えた北海道の国際貢献について意見交換する場を提供します。

◇日時：2018年2月15日（木）15:00～17:00（受付14:30～）

◇会場：北海道大学 百年記念会館 大会議室（大学正門から徒歩3分）

◇対象：企業関係者、研究者、学生、市民、支援機関関係者等（定員：60名／参加無料／申込み要）

◇主催：(独)国際協力機構（JICA）北海道国際センター ◇共催：北海道大学

◇後援：北海道、札幌市、北海道新聞社 ◇協力：(一財)北海道開発協会、(一社)北海道中小企業家同友会  
札幌支部、REC北海道道央圏協議会、新輸出大国コンソーシアム北海道ブロック連絡協議会

## ◇プログラム：

### <基調報告>

- ・報告Ⅰ「JICAの気候変動に対する取り組み」

鈴木和信 JICA 地球環境部 森林・自然環境グループ 課長

- ・報告Ⅱ「北大 SATREPS の泥炭火災対策への貢献とSDGs展開」

大崎 満 北海道大学大学院農学研究院 名誉教授

- ・報告Ⅲ「JICA事業を活用したビジネス展開と泥炭火災対策への貢献」

繁永幸久 (株)みどり工学研究所 CEO 所長

### <パネルディスカッション> 「SDGs時代を迎えた北海道の国際貢献」

コーディネーター：小磯修二 (一社)地域研究工房 代表理事、報告者3名

【問合せ先】 JICA 北海道 中野 (Tel.: 011-866-8421)

【申込み先】 JICA 北海道 Fax: 011-866-8382 またはEメール: [hkictp@jica.go.jp](mailto:hkictp@jica.go.jp)

----- 申込書 (2月12日(月)締切) -----

団体名	(個人参加の場合は記入不要)		
Tel.	( ) -		
①部署・役職		氏名	
②部署・役職		氏名	